

第73回全国高等学校通信制教育研究会総会並びに研究協議会（東京大会） 実施報告書

事項	内 容
事業名	第73回全国高等学校通信制教育研究会総会並びに研究協議会（東京大会）
期 日	令和3年6月16日（水）から6月18日（金）
開催場所	zoomによるWeb開催
主 催	全国高等学校通信制教育研究会・関東地区高等学校通信制教育研究会
後 援	文部科学省 東京都教育委員会 神奈川県教育委員会 埼玉県教育委員会 千葉県教育委員会 茨城県教育委員会 栃木県教育委員会 群馬県教育委員会 山梨県教育委員会 新潟県教育委員会 NHK NHK出版 (公財)全国高等学校定時制通信制教育振興会 全国高等学校定時制通信制高等学校長会 全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 (一財)東京都高等学校定時制通信制教育振興会 東京都公立高等学校長協会 全国私立通信制高等学校協会
参加者	92校 443名（来賓、NHK、NHK出版等含む）
実施目的	通信制高等学校は、戦後勤労青年に高等学校教育の機会を提供するものとして制度化された。しかし、時代の変化と共にその役割は変化を遂げた。通信制高等学校は、今や多様な学習歴や動機を持つ、スタートラインも目指すゴールも異なる生徒の学びの場となっている。このような状況下においても、教育の「共通性の確保」と「多様への対応」を保ちながら、生徒が自らの将来を切り拓いていく手助けをすることこそが、通信制高等学校の役割であると考えている。新教育課程実施まで1年を切った今、再度「カリキュラム・マネジメント」の実現、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの添削指導及び面接指導等の改善、ICTの積極的な活用など、多様な課題の解決に向けて研究協議会を開催する。第73回協議会は、テーマを「教育のICT化と通信制高校」とし、通信制課程の新たな学びに焦点を当て、研究協議会初のオンライン開催を行う。
実施内容	令和3年6月16日（水） 第1回理事会（14:00～15:20）、総会打ち合わせ（15:40～17:00） 令和3年6月17日（木） 全国通信制高等学校長会総会（10:20～11:20） 開会式（12:30～12:50）、総会（12:50～13:35） 〔文部科学省講演〕（13:45～14:30） 文部科学省初等中等教育局 参事官（高等学校担当）付参事官補佐 酒井 啓至 学習者改訂委員会報告（14:35～14:45）、東京ICT事例発表（14:45～15:00） 〔研究協議会〕令和3年6月17日（木）15:10～17:00 6月18日（金）9:00～10:30 第1分科会(学校運営) 115名 第2分科会(地理・歴史) 46名 第3分科会(数学) 40名 第4分科会(保健体育) 44名 第5分科会(放送教育) 124名 第6分科会(人権教育・教育相談) 47名 令和3年6月18日（金） 〔記念講演〕 10:50～12:00 講師：早稲田大学人間科学学術院 教授 森田裕介 氏 演題：「通信制高校のデジタルトランスフォーメーション」 全体協議会、閉会式（12:00～12:40）
参加費	加盟校：無料 学校参加3,000円（1校） 一般参加：3,000円（1名）
成 果	第73回協議会は、テーマを「教育のICT化と通信制高校」とし、通信制課程の新たな学びに焦点を当て、研究協議会初のオンライン開催を行った。コロナ禍における高等学校通信制教育の課題を共有し、充実・発展に向けた方策等について活発に研究協議を行った。文部科学省講演では、「新しい時代の高等学校教育の実現に向けた制度改正の背景について」が演題であったが、新学習指導要領をテーマに「多様性への対応」という通信制教育の方向性や理念について説明をしていただいた。研究発表における、研究の成果や先進的な取組は、各学校の教育実践に多くの示唆を与え、様々な取組への可能性を感じさせるものであった。研究協議においては、通信制におけるオンライン学習が今日的課題という点で各校共通の認識が形成された。課題解決に向けた方策についてzoomを活用した活発な意見交換が行われた。時間の制限があったが、助言者による適切な指導によって、参加者の意識を高め、各学校の実践力の向上につながる有意義な研修となった。また、情報交換の意義も大きく、全国の通信制高等学校相互のネットワークの重要性を感じさせた。 記念講演では今後の授業のデジタルトランスフォーメーションが進むことによって、授業は改良され、教授法や教員の役割も変わっていくという内容であった。コロナ後の通信制教育の在り方を考えるうえで、オンライン学習の効果的な活用（インターネット接続やタブレット、スマホ等の機器の利用、）は教育における破壊的なイノベーションを伴う可能性があるという説明を受けた。通信制高校の教員にとってもオンライン学習を取り入れた、新しい学びに挑戦せざるを得ないという状況があることを認識させた。通信制教員の指導力向上を目指した貴重な研修の場として、本大会は今後もさらに重要性を増していくと考えられる。